



令和7年版  
男女共同  
参画白書  
(内閣府)

今年度の  
テーマ

## 男女共同参画の視点から見た魅力ある地域づくり

「令和7年版男女共同参画白書」が6月13日に閣議決定・公表されました。

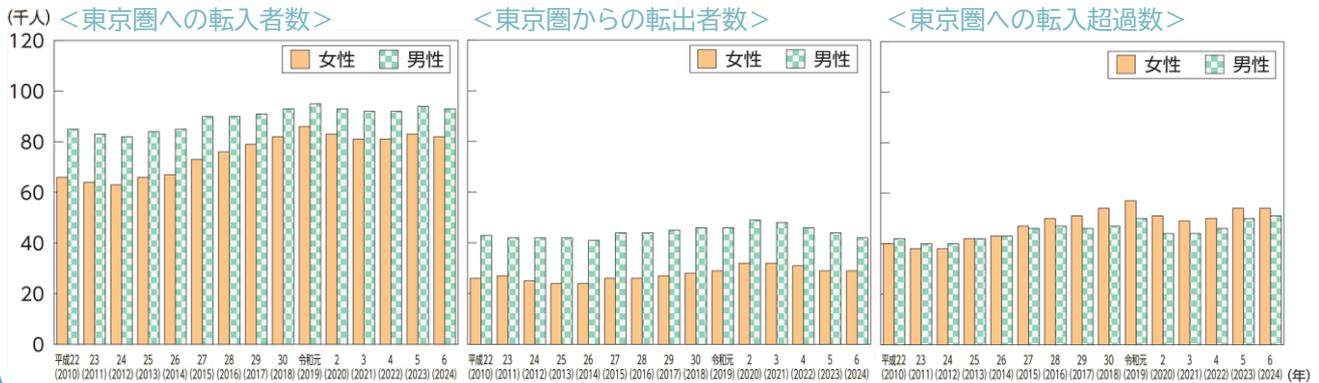
急速に進行する少子高齢化や人口減少の中、地域の活力の維持・向上を図るためには、女性や若者の活躍がますます重要とされています。その一方で近年、若い世代が進学や就職、結婚などを機に地方から都市へ流出し、特に女性は都市に留まり地方へ戻らない傾向が強まっています。

出身地域を離れた理由としては、「希望する進学先が少なかったから」が最も多く、次いで「やりたい仕事や就職先が少なかったから」が挙げられています。さらに女性は、男性に比べて「地元から離れたかったから」や「親や周囲の人の干渉から逃れたかったから」とする割合も高い点が特徴です。

一方で、出身地域に「愛着がある」とする人の割合は女性の方が高く、出身地域に戻りたいと考えている女性も一定数存在していることがうかがえます。

日本人移動者の東京圏の転出入者数の推移(男女別・15~24歳)

※東京圏の転入者数/転出者数の比率は  
女性2.9/男性2.2(2024年)



出典: R7 男女共同参画白書 (内閣府)

若い世代の地域への意識

女性・若者の地方からの転出に歯止めをかけるとともに、一度地元を離れた人が「帰りたい」と思える地域への変革が求められています。

特に、固定的な性別役割分担への意識や、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消が重要です。加えて、全ての人にとって働きやすい環境の整備、地域における女性リーダーの増加、地域での学びの選択肢の確保が、優先課題として示されています。

性別にとらわれず、個性と能力を発揮できる環境整備や魅力的な地域づくりの取組を進めることで、全ての人々が希望に応じて活躍できる社会が実現し、地域・日本全体の成長や発展、ウェルビーイングの向上につながることを期待されています。

魅力ある地域づくりに向けて

### 地域における男女共同参画の推進に向けて

- ・地域の男女共同参画が進み、地域の活力が高まることで、日本全体の活力向上、ウェルビーイングの向上につながる
- ・性別に関係なく個性と能力を発揮できる環境整備や魅力的な地域づくりの取組の推進が重要。

固定的な性別役割分担意識等を解消する	全ての人にとって働きやすい環境をつくる	地域における女性リーダーを増やす	地域で学ぶ
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓職場・学校・地域等あらゆる場における性別による役割分担の見直し</li> <li>✓固定的な性別役割分担意識による女性への家事・育児・介護の負担の偏りの解消</li> <li>✓一人一人の意識改革や行動変容</li> <li>✓男女に中立でない制度の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓性別に関係なく、やりがいのある仕事の創出</li> <li>✓共働き・子育てを可能にする性別を問わない両立支援</li> <li>✓デジタル人材育成・リスケリングや就労支援、地域で働く選択肢の増加</li> <li>✓女性の起業を支援し、女性が活躍しやすい社会環境の確立</li> <li>✓女性の所得向上・経済的自立・男女間賃金格差の是正</li> <li>✓地域限定正社員などの多様な働き方の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓あらゆる分野における施策・方針決定過程への女性の参画拡大</li> <li>✓女性管理職育成・登用、キャリア形成支援</li> <li>✓女性起業家支援を通じた、地域で活躍するロールモデルづくり。女性起業家の増加による地域の活性化</li> <li>✓女性の意見を取り入れた地域活動、地域づくり</li> <li>✓女性の視点からの防災・復興の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓地域の特色を活かした大学づくり</li> <li>✓教育や研究を通じ、地域社会の発展に貢献</li> <li>✓地域産業につながる人材育成・キャリア教育</li> <li>✓進学先選択の際の無意識の思い込みの解消</li> </ul>

日本のあらゆる地域で全ての人々が希望に応じて活躍できる社会

出典: R7 男女共同参画白書 (内閣府)

2025

報告

# にいがた女と男フェスティバル 開催しました!!

今年も、新潟ユニゾンプラザにて「にいがた女と男フェスティバル 2025」を開催。  
基調講演会と関連事業のDVD上映会は、皆様のご参加により大盛況のうちに幕を閉じました。

基調講演

6/SAT  
21

すべての人に知ってほしい女性の健康支援 ~働く女性の本音が教えてくれたこと~  
講師 | 高尾 美穂 さん (産婦人科医・医学博士・産業医)



月経困難症、更年期障害など女性特有の健康課題について、お話いただきました。  
痛みや不調は、女性が表に出さず我慢するものだったが、今や女性の健康課題は社会のテーマになりつつある。まずは女性も正しく理解し、思い込みや決めつけで我慢せず課題と認識し、“前向きなアクション”を起こし、周囲は不調に対して理解して仕組みづくりをすることで働きやすい社会を共に形成する事が大事と説明されました。

参加者からは、「更年期を含む女性の健康課題の点からも、企業内でもキチンと情報を共有することが大事だと感じた。」「目指すべき男女平等参画を明確に考えることができた」など、気づきの感想を沢山いただきました。

今回の講演会でも、会場参加は満席。別室(配信会場)も定員数に届く盛況ぶりでした。また、オンライン配信のほか、長岡市、見附市など、前年度よりも多い12市でのサテライト会場も設営され、県内問わず、幅広い世代 合計 **515** 人の方々から参加していただきました。



直接会場の様子

## 男女共同参画週間に屋内展示を開催!

6/23~29の男女共同参画週間に合わせ、新潟ユニゾンプラザ1階屋内スペースにて、6/6~6/22の期間中に、男女共同参画週間の案内、財団やフェスティバルの紹介を今年も展示しました。  
観覧した方からは、「財団や財団の活動を知るきっかけになった。」「掲示してた他セミナーも参加したい」などのお声をいただきました。



令和7年度  
DVD無料上映会

6/SUN  
22

## 〈主婦〉の学校

~The School of Housewives~  
(2020年/アイスランド)

関連事業



▲ 上映会の様子。当日は42人の皆さまからご参加いただきました。ありがとうございました。

1942年に創立した、生活全般の家事を実践的に学ぶことができる学校がアイスランドに存続している。

性別に関わりなく、自立した人間として生きるための知恵と技術を学ぶ様子をまとめたドキュメンタリー作品「主婦の学校」を上映しました。

参加者からは、「男性も参加する学校に興味があった。家事を早く身につけると人生に充実感や楽しみが見つかるような気がした。」「性差による役割を、子ども世代には引き継ぐことなく」誰かがやる“ことではなく、”誰もがやる“という意識に変わってほしいと感じた。」などの感想をいただきました。

令和7年度 働く女性のテーマ別  
情報交換・交流会

7 / THU  
03

# アンコンシャスバイアスを知ろう!気づこう! ～一人ひとりの可能性が広がることをめざして～

関連事業



▲ 講師の太田博子さん。セミナー後は参加者から、「気づきの連続だった」などの感想が寄せられました。

このセミナーは、定員を超える 60 人のご参加があり、「アンコンシャスバイアス」について関心が高まっていることが感じられました。この講座で学びたいこととして、「自分にどれだけ思い込みがあるのか知りたい」「組織づくり、企業風土の改善のヒントを得たい」などのご希望があり、講師の太田博子さんから、アンコンシャスバイアスとはどのようなことなのか、事例や問いを通じてお話いただきました。講師からの問いに、会場では大いに盛り上がりました。

セミナー後、参加者からは、「講義だけでなく、問いかけに考えたり話したりする時間が良かった」という感想が寄せられました。



起業に興味はあるけれど、いきなりするのは不安だし、  
そもそも何から始めたらいいのかわからない…。

起業したのだけれど、なんだか上手くいかない…。  
事業をもっと広げていきたいのになあ。



## そんな悩みを抱えているあなた！1Day マルシェにチャレンジしてみませんか？

このセミナーは、マルシェに出店するための基礎知識を学んだり、経験豊富な先輩ゲストから体験談やアドバイスをお聞きしたり、起業の不安を解消して、あなたの夢の一步を応援します。



01 起業のための  
基礎知識

02 イベントの特徴を捉えた  
マルシェの準備・PR

03 1Day  
マルシェ本番



9 / SAT 13:30  
20 | 16:00

10 / SAT 13:30  
18 | 16:00

11 / SAT 10:00  
08 | 16:00

連続講座

会場 | 女性団体交流室 2  
定員 | 各 20 名 参加費 | 無料

会場 | 新潟市産業振興センター  
出店数 | 10 小間 参加費 | 無料

※マルシェは講座参加者のみ応募可能。  
※1・2 は、原則連続講座となります。



令和7年度 女性の起業の支援事業

# マルシェ 起業で叶える 私の夢

セミナー&交流会

編集・発行



公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 2 階/新潟県女性センター

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp

- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- X(旧 twitter) @npwfniigata



HP

FB

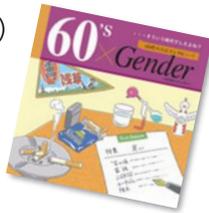
X(旧 twitter)

主な事業の実施状況

- ☑ 研修事業では、女性活躍を目的とした人材育成(リーダー養成・スキルアップ等)を行うとともに、男女共同参画を全県的に展開するため、市町村との共催セミナー等に取り組みました。また、若者や女性に選ばれる企業を目指す「企業トップセミナー」を開催し、併せて情報交換会やフォローアップを行いました。
- ☑ 支援・交流事業では、6月に「にいがた女と男フェスティバル2024」を開催。県内外問わず広く発信しました。11月の女性に対する暴力をなくす運動では、パープル・ライトアップやセミナー、広報展示等を実施しました。また、中学生対象のキャリア支援講座では、女性の理工系への進学・就職へのロールモデルを紹介しました。

1 情報事業

- ホームページ、SNS等による情報の提供
- 啓発誌 ぶっくばらんす 7号「60代×ジェンダー」(5,000部)
- 機関紙「新潟県女性センター情報」 定期発行(年4回/各2,000部)



2 研修事業

- 女性活躍を支援する「人材育成セミナー」(8講座)
- 働く女性の「スキルアップセミナー」(5講座)
- 現代的な課題を考える「女性センター講座」(4講座)
- 地域の課題を取り上げる「地域セミナー」(12地域)
- 経営者向けのトップセミナー(受託事業 1講座)
- 女性活躍のための企業間情報交換会(受託事業 2回)
- ダイバーシティを進める出前講座(受託事業 14社)
- 女性のキャリアデザイン応援セミナー(9講座)

3 支援・交流事業

- にいがた女(ひと)と男(ひと)フェスティバル2024 基調講演「ハイヒールを履いたお坊さんと一緒に考える人がそれぞれの色で輝くためのヒント」 講師 | 西村 宏堂さん(アーティスト/僧侶)
- 女性に対する暴力をなくす運動(ユニゾンプラザ・パープル・ライトアップ等)
- 女性ロールモデル啓発事業(受託事業 6校)

4 相談事業

- 新潟県男女平等推進相談室運営事業(受託事業)
- つながりサポート(アウトリーチ支援)事業(受託事業)

5 新潟県女性センター(女性団体交流室等)の貸与

※各事業、一部を抜粋して記載しております。詳細をご希望の方は右記のQRよりご覧ください。



決算の状況

【正味財産増減計算書】

単位:円

	令和6年度 a	令和5年度 b	増減額 a-b		
経常収益	県補助金	27,042,000	27,042,000	0	
	自主財源	事業受託収益	35,520,000	33,587,000	1,933,000
		基本財産利息	582,209	582,158	51
		会員会費	1,307,000	1,331,000	△ 24,000
		事業収益(受講料等)	333,068	661,600	△ 328,532
		事業収益(施設収入)	1,690,180	1,457,050	233,130
		その他	93,653	92,332	1,321
		計	39,526,110	37,711,140	1,814,970
経常収益計 A	66,568,110	64,753,140	1,814,970		
経常費用	情報事業(公1)	6,561,355	7,826,401	△ 1,265,046	
	研修事業(公2)	17,277,684	13,725,239	3,552,445	
		(内受託事業)	7,638,120	3,221,747	4,416,373
	支援・交流(公3)	18,988,370	21,050,480	△ 2,062,110	
		(内受託事業)	11,737,298	12,894,995	△ 1,157,697
	相談(公4・受託事業)	12,521,391	13,646,477	△ 1,125,086	
	共通事業費	7,313,740	6,997,431	316,309	
	(内受託事業)	3,623,191	3,823,781	△ 200,590	
	計	62,662,540	63,246,028	△ 583,488	
	施設費と事業	1,575,845	1,440,191	135,654	
管理費(法人会計)	680,113	1,017,820	△ 337,707		
経常費用計 B	64,918,498	65,704,039	△ 785,541		
内 人件費	38,241,253	36,411,585	1,829,668		
内 事業費	26,677,245	29,292,454	△ 2,615,209		
経常増減額 A-B	1,649,612	△ 950,899	2,600,511		

【貸借対照表】令和7年3月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,328,003	4,360,059	967,944
未収金	2,493,749	3,342,424	△ 848,675
前払金	166,418	131,875	34,543
流動資産合計	7,988,170	7,834,358	153,812
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	116,014,137	116,010,805	3,332
定期預金	133,129	133,129	0
基本財産合計	116,147,266	116,143,934	3,332
(2)特定資産			
自主事業積立資産	6,833,653	6,100,000	733,653
特定資産合計	6,833,653	6,100,000	733,653
(3)その他固定資産			
什器備品	212,667	105,600	107,067
電話加入権	70,000	70,000	0
その他固定資産合計	282,667	175,600	107,067
固定資産合計	123,263,586	122,419,534	844,052
資産合計	131,251,756	130,253,892	997,864
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,342,681	2,842,098	500,583
前受会費(利用会員会費)	113,000	298,000	△ 185,000
前受会費(賛助会員会費)	154,000	169,000	△ 15,000
預り金	299,209	513,472	△ 214,263
未払消費税等	912,700	1,654,100	△ 741,400
流動負債合計	4,821,590	5,476,670	△ 655,080
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,821,590	5,476,670	△ 655,080
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	116,147,266	116,143,934	3,332
指定正味財産合計	116,147,266	116,143,934	3,332
(うち基本財産への充当額)	(116,147,266)	(116,143,934)	(3,332)
2. 一般正味財産	10,282,900	8,633,288	1,649,612
(うち特定資産への充当額)	(6,833,653)	(6,100,000)	(733,653)
正味財産合計	126,430,166	124,777,222	1,652,944
負債及び正味財産合計	131,251,756	130,253,892	997,864